



NEWS

VOL.
183

平成30年7月発行



第54回体育祭

平成30年5月19日(土)

テーマ 雲外蒼天

今年度のテーマは、「雲外蒼天」でした。試練を乗り越えていき、努力して乗り越えれば快い青空が望めるという意味であり、前日までの雨も乗り越える快晴となり、笑顔があふれる体育祭となりました。初めて2年生全員で行った「集団行動」では学年全員で動きや想いを合わせる大変さを知り、何度も練習を繰り返し、本番ではきれいに揃った演技を披露することができました。競技種目においては、今年度より「魔法のじゅうたん」「玉入れさせない!」という新種目が入り、紅白の対戦が一層充実しました。白熱した勝負がたくさんあり、「紅組」の優勝で幕を閉じました。応援団や各競技・演技においては、学年・男女に応じた生徒一人ひとりの成長や日頃の練習の成果がよく感じられる体育祭となりました。

紅組団長 木村 渉(6年4組)

私は2年生から5年間、応援団を続けてきました。初めは慣れないことも多く、正直辞めたいと思ったこともありましたが、先輩方が優しく励ましてくれ、徐々に自信をつけていきました。最高学年となり、応援団長を務め、団員をまとめる大変さや人前で表現し、伝えることの難しさなど、様々なことを学ぶことができました。この経験は必ず将来のためになると確信しています。支えてくださった先生、先輩、ついてきてくれた後輩や友だちに感謝しています。



白組団長 深川 明日香(6年5組)

今年の白組執行部は6年生が2人しかおらず、団員を上手にまとめられず、計画通りにいかなく大変でした。しかし、10人の後輩に支えられ、執行部全員で力を合わせたことにより、学年を越えた強い団結力を築き上げることができました。優勝することはできませんでしたが、学校全体で体育祭を楽しむことができ、高校生活を締めくくる最高の体育祭にすることができました。支えてくれた副団長の河野さん、後輩、先生方、本当にありがとうございました。



CONTENTS

●第54回体育祭	1
●2年 パサデナ交換留学	2
●1年 新入生オリエンテーション	3
●教育実習生	3
●2年～6年 遠足	4
●新高校生徒会役員	4
●夏休みの勉強法	5
●TOPICS	6
●CLUB NEWS	6



歓迎会にて習字を披露



手打ちうどん作り



華道を体験



交流会にて



歓送会にてインタビュー



パサデナ生男子によるハカ(歓迎会)



みんなでジャンプ!



授業風景



原爆ドーム前で

ニュージーランドのパサデナ中学校から、19名の留学生を迎えました。パサデナ生は、本校生徒の家にホームステイしながら学校に通い、一緒に授業を受けたり、茶道や華道などの日本文化を体験したりと、充実した10日間を過ごしました。

1、2年生で実施した歓迎会では、文化の紹介や特技の披露によって、最初は緊張した面持ちだった両校生徒もお互いに対して親しみが持たように感じ

ました。異文化で暮らす、同年代の友人と積極的にコミュニケーションをとり、お互いに刺激し合っていました。2年生の生徒が運営した交流会も、80名以上が参加し、大盛況でした。

7月には本校の生徒がニュージーランドへ留学します。再会したときにより成長した自分を見せることができるよう、事前学習にも熱が入ります。

受け入れは思った以上に大変で悩むこともありましたが、相手の気持ちをしっかりと考えて、分からないことは相手に聞くことで、文化の違いを学んだり、交流のきっかけにもなったりしました。英語をたくさん使うこともできた上に、終わった後は達成感を味わうこともできました。とても良い体験になりました。
2年1組 市原 来望

この10日間、どうしても伝わるのだろう、どう言えばいいのだろうと思うことが度々ありました。だからこそもっとも英語を勉強していこうという気持ちになりました。アダムくんとの会話を通して、異文化を知ることがどういうことなのかという体験もできました。ニュージーランドのことをもっとも知りたい、日本の文化をもっと伝えてあげたいという気持ちでいっぱいになりました。
2年4組 狩山 雄伍

Dylanと初めて対面して家に連れて帰った時、言葉がなかなか出ず、家族に任せきりでした。翌朝の通学時、他のパサデナ生とホスト生徒が仲良くなっていることに焦り、アドバイスを受け、積極的に話しかける努力をすると、少しずつ会話ができるようになり、楽しい雰囲気になってきました。また、ピアノ教室に行ったり、家族とテニスをしたりして、言葉が通じなくても音楽やスポーツを通してコミュニケーションをとることができるということがわかりました。
2年5組 高橋 慧

パサデナ生が来ることが決まって一番心配だったことは、ホームシックにならないかということでした。私の家族は全員英語が話せず、英語を聞き慣れていません。また、日本の食べ物や生活習慣などが合わず、部屋に引きこもったり泣いてしまったりすることを心配していましたが、特にそういったこともなく、楽しく過ごしていて嬉しかったです。言葉が通じなくても、笑顔であたたかく迎え入れてあげることで、心と心は通じ合うことを感じました。
2年6組 山根 京華

場所：本校・広島工業大学沼田校舎

1日は学校で校長先生から「なぎさ学」の講話をいただきました。胸像、石碑クイズや校歌の特徴も教わり、なぎさ生としての自覚を高めていきました。その後、広島工業大学沼田校舎へと場所を移し、体幹の重要性や姿勢づくりの大切さを学びました。2日は、雨予報でしたがなんとか屋外で活動することができました。クラスごとに乗馬、NAP(Nagisa Adventure Program)、大縄跳びの体験を行い、1泊2日の生活の中で集団内では規律ある行動を心がけ、お互いを知り親睦を深めていきました。食事や掃除などみんなで声を掛け合って協力し、仲間を気遣う姿も随所に見られる研修となりました。この経験をこれからの学校生活に活かし、実りある6年間を過ごしてほしいと思います。



校長講話を聴く



正しい姿勢に取り組む生徒

オリゼミの中で3つ心に残ったことがあります。1つ目はNAPです。印象に残った理由は、自分だけが空回りしてもできず、参加するみんなと楽しく協力しなければ成功できないからです。2つ目は乗馬です。これは1人でもできますが、馬に初めて乗り、命が動いていること、鼓動を感じました。3つ目は大縄です。NAPと同じ理由でもありますが、何より、自分が多人数を引っ張る重みを感じました。これら3つのことから、「協力」「命の重み」「貢献」を学び、自分は人のために努力すること、生命を大切にすることを心に刻みました。以上のことから、「なぎさ生として自覚を持ち、規律を守り、親睦を深める」というオリゼミの目標を達成できたと思います。自ら積極的に行動し、友達の手を借りながら、班長として行動の面では上手くいったと思います。オリゼミで学んだことを忘れず、これからの学校生活に活かしていきたいです。

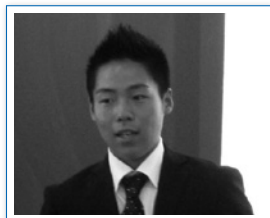
1年3組 二宮 悠太

1泊2日のオリゼミで、班のみんなと仲良くなれてとてもうれしかったです。集合時間に間に合うように班の人と声をかけながら過ごすことができました。食事の前に、班のみんなに箸を渡すなど、気を配ることができるようになったことが自分の中で一番成長したことだと思います。また、係の仕事があつて準備ができない人の分まで友達が準備をしてくれて、とても優しいと思いました。そういう気配りが大切なのだと勉強になりました。友達の行動から学んだことや友達がしてくれた良いことを私も真似して、中学生として過ごしていこうと思いました。1泊2日のオリゼミで、食事を作ってくれた方々などへの感謝の気持ちを忘れず、オリゼミで仲良くなった友達とはこれからも仲良くしていこうと思います。たくさんの楽しい思い出ができて、たくさん学べたので満足しています。これからもいろいろな行事で協力して成功させていきたいです。

1年5組 竹矢 ののか

教育実習生

卒業生が本校へ教育実習生として帰ってきました。実習生は2週間～3週間という短い期間の中で様々な経験をしながら、大きく成長した姿を見せてくれました。



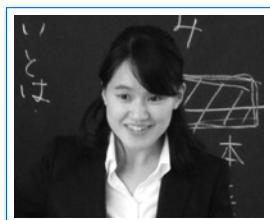
佐々木 里樹
東京海洋大学 海洋科学部
(2014年度卒)

教育実習生として母校に帰ってきて

私は、教育実習生としてこの学校に帰ってくるのが決まった時から、立場は変わっても再びなぎさで学べることをとても楽しみに思っていました。そして実際に先生として生活する中で、自分が中高生だったころに、なんとなく聞いていた授業やなんとなく参加していた行事の裏には、先生方の大変な努力があるということを知りました。また、そのような環境の中で学んでいるからこそ、みんなを気遣えるなぎさ生に成長していくのだと感じました。実習を通して、なぎさをさらに好きになった2週間でした。ありがとうございました。

後輩のみなさんへ

まず初めに、教育実習生として何もわからなかった私を温かく受け入れてくれて、ありがとうございます。後輩に向けて私が伝えたいことは、全力でなぎさでの生活を楽しんでくださいということです。勉強も、部活も、行事も、全力で取り組めば必ず何か得られるものがあります。そして、なぎさで得たものは未来の自分を助けてくれるはず。私の周りの卒業生は、最近様々な分野で頑張っています。お互いが頑張っている話をするのはとても楽しいので、後輩のみなさんも現在をしっかり楽しみ、力をつけて、仲間と共に羽ばたいてください。



本畝 瑞歩
広島文教女子大学
人間科学部 初等教育学科
(2014年度卒)

教育実習生として母校に帰ってきて

教育実習生として母校に帰ってくるのができて嬉しく思う反面、不安と緊張を感じていました。この3週間の様々な経験をさせていただいた中で、特に、生徒のときには気づかなかった、先生方の生徒を想う気持ちを垣間見ることができました。生徒一人ひとりの課題と向き合い、生徒が休んだ時には誰よりも心配されていました。また、授業一つ作り上げるのにも、何時間もかけて準備をし、生徒を第一に考える姿がありました。そのような先生方の姿を見て、改めてなぎさの卒業生であることを誇りに思えました。そして、私も生徒を第一に思える教師になりたいと強く思いました。

後輩のみなさんへ

私は学校生活で最も大切なのは、何かに「熱中する」ことだと思っています。私の場合は、3年間の高校軟式野球部での活動でした。日々の練習で考えたことや試合での感動、悔しさが今でも残っています。そして毎年夏が来ると最後の試合のことをより鮮明に思い出します。その思い出があらゆる場面で私を鼓舞してくれています。ぜひ、みなさんも6年間のなぎさでの生活の中で何か一つ、熱中できることを見つけてください。それがいつの日か、みなさんの強みに変わるはずです。

みなさんの元気で明るい姿のおかげで充実した教育実習となりました。3週間、ありがとうございます。

天候に恵まれ、絶好の遠足日和でした。訪れた場所の歴史や文化・風土を学びながら、新しいクラスでの親睦をしっかりと深めることが出来ました。

2年 — みよし風土記の丘



生徒たちは展示されている原始・古代の出土品を見たり、ウォークラリーで古墳巡りをしたりすることで歴史を感じ、多くの学びを得ることができました。また教科の枠を越えたおもしろい問題を解きながら、親睦を深めることもできました。お昼はクラスごとにお弁当やおやつを食べ、自由時間も楽しみました。

3年 — 宮島弥山



弥山の頂上は狭いので、学年を2つに分けて時間をずらしてスタートしました。頂上への道のりは険しく、疲労困憊しながらも、互いに声を掛け合い登りきりました。頂上からの景色はとても感動的でした。

4年 — もみのき森林公園



班のメンバーと協力して、バーベキューを行いました。みんなで火をおこし、出来上がったバーベキューは格別の美味しさでした。肌寒さを忘れる程たくさん食べてたくさん話して、新しいクラスのメンバーと楽しい時間を過ごしました。

5年 — しまね海洋館アクアス



しまね海洋館アクアスにて、生徒たちはシロイルカのトレーニング講座、サメのバックヤード見学などを含む4つのコースに参加し、普段は触れることのない海の生き物について学び、触れ合いを楽しみました。

6年 — 尾道



桜の満開の時期は過ぎていましたが、暖かく、尾道の坂道を上り下りすると汗ばむほどでした。歴史情緒あふれる尾道の町には、古い建物をリノベーションしたおしゃれなスポットも多くあり、グループごとに尾道をゆっくり散策し、楽しみました。

新高校生徒会役員

私たち12名が新生徒会役員となりました。私自身は、これまで中学校・高校で書記として学校行事の運営に携わってきました。今年は学校行事をこれまで以上に盛り上げて生徒のみなさんに喜んでもらいたいと思っています。今までは他の役員をサポートすることが多かったのですが、これからは生徒会長として、他の役員をサポートだけでなくリードしていきたいです。生徒会役員としての経験は12名それぞれ異なりますが、生徒会役員全員が協力しあって学校行事の運営を行い、生徒のみなさんがよりよい学校生活を送れるような環境作りに努めたいと思います。一年間よろしくお願ひします。



生徒会長	江口 菜南 (5-3)	書記	笹川 京香 (4-5)	会計監査	大朝 麻琉人 (4-3)	運動部長	井上 智尋 (4-6)
副会長	阿部野 紗歩 (5-1)	会計	空 悠太 (5-4)		吉本 拓海 (4-5)	風紀委員長	平川 慧人 (4-4)
書記	後藤 正孝 (4-5)		上杉 颯史 (4-4)	文化部長	林 莉子 (4-6)	美化委員長	遠山 琢哉 (4-2)

夏休みの勉強法

	5年生	6年生
国語	<p>本質的な国語力を高めるうえで有効な方法は「読書」です。とはいえ、6年生になると、その時間を確保することは難しくなります。5年生の夏休みは、読書を通じて国語力を高めるチャンスです。しっかり本を読みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自宅に新聞がある場合、朝、時間を決めて読むのがおすすめです。(コラムと社説は必ず。あとはお気に召すまま。) ●センター試験では、かなりの長文を短時間で読み切る力が必要です。興味のある分野の新書を片っ端から読み飛ばし、速読力を付けることができるのも、夏休みならではの。 ●使わない言語は、時とともに抜け落ちていきます。古典の学習(課題)は、偏りなく計画的に。(毎日行うのが理想です。) 	<p>問題演習を通じて学力を高め、夢に向かって一步一步近付いていける夏になりますように。夏を制する者は受験を制す、この夏の意識的な取り組みは大きな成果につながります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●センター試験のみの人も、夏の間はじっくりと記述問題に取り組みしましょう。(記述レベルの読解力がなければ選択問題だけを解いても、空回りしてしまいます。) ●早い時期に、志望大学の過去問に取り組みしましょう。(問題が解けるようになるためにどんな力をつけなければならないのかを見極めることを意図して。) ●現代文は、結果が出るまで時間はかかりますが、トレーニングを通じて確実に点数が取れるようになる科目です。(文章題30問がひとつの目安、安定して読み解けるようになります。)
地理歴史・公民	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書と授業プリント(ノート)を必ず活用して復習すること。 ●「書く」こと。「見る」だけでは知識の定着は図れません。 ●最低でも、第1回定期考査の範囲は必ず復習すること。夏休み前までの学習内容を全て復習できれば申し分ないです。今ならば、挽回は十分可能です。 ●志望大学・学部過去の過去問にチャレンジしましょう。既習内容については、現段階でできなければいけません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習リズムを構築すること。 [文系]毎日学習すること。ただし、英語・国語に重点を置いた学習バランスとなるよう留意しなければいけません(地理歴史・公民科ばかりの学習となってしまう)。[理系]2~3日に1日は必ず学習時間を確保すること。 ●「書く」こと。「見る」だけでは知識の定着は図れません。 ●基本的な内容の定着度を高めることが重要。重箱の隅をつつくような勉強に陥らないように。
数学	<p>以下の3点を意識した学習で、安定した結果が得られやすくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①基本問題を甘く見るな 「これぐらい解けるから…」[時間が勿体ない]と基本問題を取り組まずに伸び悩む生徒を過去に多く見ました。 ②計算ミスを抑えるな 「計算ミスがなければこの問題は正解するから大丈夫」と思うだけで何も対策せず、ミスが減らない生徒を過去に多く見ました。頭の中でしている計算を書く習慣に変えましょう。 ③解答の丸写しで解けた気になるな どこで行き詰ったかを明確にしてから解答を見て「あっ!そういうことか!」と思えば大丈夫です。それでも解らないときは先生に質問しましょう。 	<p>夏休み前までの「基礎力養成期」を終え、夏休みは「基礎力充実期」に入ります。この時期にすることは、入試問題集を解きまくることです。そのため問題集は準備できていますか。自分で決めた問題集でもよし、授業で使用しているテキストでもよし。夏休み中に1回解き終わるのが理想的です。夏休み後から10月末までにもう1回解き終え、11月からセンター対策用の問題集をみっちりこなせば、センター試験で8割は堅いでしょ。要はこなせるだけの時間を確保できるかどうかです。やった分だけ必ず返ってきます。信じて頑張りましょう。</p>
理科	<ul style="list-style-type: none"> ●物理…理科の受験勉強は来年が中心で、来年の夏休みは多くの時間を割いてもらう必要があります。今年は基礎固めとして、ほとんど終わっている力学分野について、教科書・リードαなどの問題を解き、概念をしっかり理解しておいてください。 ●生物…教科書や図説で概念をつかみ、全単元の基本問題を反復しましょう。教材には現象を表すフローチャートが多く載っています。自分で説明しながら図示する練習を重ねてください。 ●化学…化学物質や化学反応について、教科書や図説などで、できるだけたくさん知識を得ましょう。その後、理論をしっかりと学習し、周期表や典型元素について規則性を理解するとよいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●物理…4月に話した通り、心に決めた問題集を夏休み中に一回やり切ってください。相当の時間が必要ですから、覚悟しておいてください。パターンのみならず、概念理解もお忘れなく。 ●生物…基礎固めが必要な単元を選別し、序盤で完成させましょう。難問、記述問題は答えの暗記を避け、解答の「勘どころ」をつかむ努力を。その後は多様な実験考察問題に取り組みしましょう。 ●化学…無機化学は一気に整理しましょう。無機化学ができれば、今までの化学分野の反応はほぼ網羅できています。化学は、持っている知識をもとに理論計算で現象を解明する学問です。
英語	<p>主な英文法の学習は終わりました。理解の曖昧な点があれば、参考書を読み解くなどして夏休み中に克服しておきましょう。「Vintage」16章までの復習を丁寧しておくこと。また、長期休暇は語彙を定着させる絶好のチャンスです。4年生で覚えたはずの基本語句「新ユメタン」は計画的におさらいしておきましょう。そして何より養っておきたい力が読解力です。まずは、「なぎさ式」の読解問題を丁寧に取り組むこと。そして、自分にあった長文読解問題集を探して多くの英文に慣れ親しんでおきましょう。英字新聞や簡単な小説を読んでみるのもよいです。</p> <p>最後に、これからどのような力をつければよいのかを知るためにも志望校の入試問題に挑戦してみましょう。</p>	<p>夏休みに限らず、1日のサイクルの中に根気のいる「毎日の」英語学習を組み込んでください。例えば、文法であれば同じ問題集を「徹底的に」繰り返し、完全にマスターし、単語であれば、「必ず」発音しながら書いて覚えていきましょう。それを習慣化させることが大切です。</p> <p>特に長文を毎日一題読む習慣は効果的です。300語程度の読みやすい英文でも良いのです。過去の模試の問題、大学の過去問、市販の問題集なども良いでしょう。様々な分野の英文を読み、広い知識・読むスピード・語彙力・文章構成力・正確な読解力・日本語での記述力など、多岐にわたる力を養うことができます。</p>

平成30年度全国高等学校総合体育大会
テニス競技大会

6年間、広島なぎさ中学校・高等学校硬式テニス部員として様々な大会に出場してきました。その集大成として挑む最後の夏の大会。これまで応援していただいた全ての方々に感謝して戦います。そしてこの大会を将来へのきっかけとなる大会にします。応援よろしくお祈りします。(6年2組 秋吉 大地)

昨年のインターハイでの初戦負けの悔しさを胸に、全国一勝を目指して頑張ります。日々支えてもらっている人に感謝し、全力で戦ってきます。応援よろしくお祈りします。(5年5組 後藤 溪太郎)

部門名：個人の部
日程：8月4日(土)～7日(火)
会場：三重県四日市市
霞ヶ浦テニスコート



第65回NHK杯全国高校放送コンテスト

創作ラジオドラマ部門で全国大会に出場するのは初めてなので、とても嬉しく思います。今回このような成績を残すことができたのは、日々ご指導して下さる先生方、先輩方のおかげだということを忘れずに、全国大会に向けて頑張りたいと思います。また、放送部として学校内でも活躍の場が広がられるように努力していくので、今後も応援よろしくお祈り致します。(放送部員一同)



部門名：創作ラジオドラマ部門
作品名：イクメンとチャリティーの面々
日程：7月23日(月)～26日(木)
会場：NHKホール他

第42回全国高等学校総合文化祭
2018信州総文祭

この文化祭は、各都道府県の代表として全国から集まった高校生たちが、様々な文化を継承し、新たなものを発見する、高校生の手による芸術文化の祭典です。本校からは、管弦学部とバトン部が広島県代表として参加します。なお、バトン部は下記の部門大会以外にも8月7日に松本市市街地で実施されるパレードにも参加します。

■管弦学部
部門名：器楽管弦楽部門
日程：平成30年8月8日(水)～8月9日(木)
会場：ホクト文化ホール(長野市)
■バトン部
部門名：マーチングバンド・バトントワリング部門
日程：平成30年8月9日(木)
会場：エムウェーブ(長野市)

CLUB NEWS

高校テニス部

- 第71回広島県高等学校総合体育大会テニス競技(広島地区大会)
日程：平成30年4月21日(土)・22日(日)
成績：個人戦 男子シングルス
小林 遼河(5-5)・藤井 翔太(5-1)・三井 哲朗(4-3) シード2人を合わせた5名 県大会へ出場
個人戦 男子ダブルス
大西 瑛士(5-5)・小林 遼河ペア
藤井 翔太・大貫 颯太(4-3)ペア
シード1組を合わせた3ペア 県大会へ出場
個人戦 女子シングルス
加世田 美友(6-2)・倉本 結梨(6-1) シード2名を合わせた4名 県大会出場
個人戦 女子ダブルス
シード2組、4名 県大会へ出場
- 第71回広島県高等学校総合体育大会テニス競技
日程：平成30年6月2日(土)・3日(日)
成績：団体戦 男子
第3位 中国大会へ出場
団体戦 女子
第3位 中国大会へ出場
- 第71回全国高等学校総合体育大会テニス競技
広島県大会個人の部
日程：平成30年6月9日(土)・10日(日)
成績：個人戦 男子シングルス
秋吉 大地(6-2) 優勝 全国大会へ出場
後藤 溪太郎(5-5) 第3位 全国大会へ出場
小林 遼河 ベスト16
個人戦 男子ダブルス
秋吉 大地・後藤 溪太郎ペア 優勝 全国大会へ出場
個人戦 女子シングルス
西村 茉莉(6-5) ベスト16

高校卓球部

- 第67回広島県高校卓球選手権大会(個人)広島地区予選
兼 全国・中国高校卓球選手権大会広島地区予選
日程：平成30年4月21日(土)・22日(日)
成績：男子シングルス
大宇根 太陽(6-5) 県大会へ出場

高校サッカー部

- 第71回広島県高等学校総合体育大会サッカー男子の部
広島地区予選
日程：平成30年4月14日(土)・22日(日)・28日(土)
成績：県大会へ出場

- 第71回広島県高等学校総合体育大会サッカー男子の部
日程：平成30年5月26日(土)・27日(日)
成績：県ベスト16

高校バレーボール部

- 第71回広島県高等学校総合体育大会バレーボール
広島地区大会
日程：平成30年4月28日(土)
成績：県大会へ出場

高校陸上部

- 第71回広島地区高等学校春季陸上競技選手権大会
日程：平成30年5月6日(日)～8日(火)
成績：男子走り幅跳
福島 康太(6-4) 第6位 県大会へ出場
男子三段跳
坂元 友斗(5-4) 第5位 県大会へ出場
女子100Mハードル
山田 千尋(4-3) 優勝 県大会へ出場
- 第71回広島県高等学校総合体育大会 陸上競技の部
日程：平成30年5月25日(金)～27日(日)
成績：男子三段跳び
坂元 友斗 第8位
女子100Mハードル
山田 千尋 第6位 中国大会へ出場

高校水泳部

- 平成30年度広島地区春季水泳競技大会
日程：平成30年5月12日(土)
成績：女子総合7位
栢井 萌(4-2) 200m背泳ぎ 第1位
100m背泳ぎ 第1位
県大会へ出場
小西 咲良(5-5) 800m自由形 第2位
400m自由形 第2位
県大会へ出場
高橋 幸大(5-4) 200m自由形・400m自由形 県大会へ出場
中川 裕喜(5-3) 50m自由形・100m自由形 県大会へ出場
- 第71回広島県総合体育大会 水球の部
日程：平成30年5月26日(土)・27日(日)
成績：第4位
- 平成30年度広島地区高等学校選手権水泳競技大会
競泳の部
日程：平成30年6月16日(土)・17日(日)

- 成績：小西 咲良 女子400m自由形 第2位
女子800m自由形 第1位
県大会へ出場
高橋 幸大 男子200m自由形 第8位
男子400m自由形 第8位
県大会へ出場

中高放送部

- 第65回NHK杯全国放送コンテスト第59回広島県大会
西部地区予選
日程：平成30年5月27日(日)
成績：朗読部門 林 莉子(4-6) 県大会へ出場
- 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト
第59回広島県大会 創作ラジオドラマ部門
日程：平成30年6月9日(土)・10日(日)
成績：最優秀賞 全国大会へ出場

中高将棋部

- 第54回全国高校将棋選手権大会
兼 第42回全国高校総合文化祭将棋部門
日程：平成30年度5月20日(日)
成績：県ベスト6

中学硬式テニス部

- 平成30年度広島市中学校テニス選手権大会
日程：平成30年6月2日(土)・3日(日)
成績：団体戦 男子 第3位 県大会へ出場
団体戦 女子 ベスト8 県大会へ出場
個人戦 男子ダブルス
堀江 駿(3-1)・宮本 航汰(3-5)ペア 第3位
県大会へ出場
山本 陽(2-6)・横山 航大(2-2)ペア ベスト8
県大会へ出場
個人戦 女子シングルス
牧野 月海(3-3) ベスト16 県大会へ出場

中学陸上部

- 平成30年度広島市中学校陸上競技選手権大会
日程：平成30年6月2日(土)・3日(日)
成績：1年男子100M
古中 睦人(1-3) 第3位 県大会へ出場
1部男子110Mハードル
新庄 健(3-1) 第6位 県大会へ出場
3年男子100M、2年男子100M、男子リレー、
2年女子100M、女子100Mハードル、女子リレー
以上6種目、県大会へ出場